学校番号	105

令和８年度　体育科

教科	専門体育	科目	スポーツ概論	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	基礎から学ぶ「スポーツ概論」（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

競技スポーツや生涯スポーツが盛んになるにつれ、現代スポーツは多くの問題を抱えてきた。また、スポーツは社会の変化に応じて変化するだけではなく、社会や地域を変化させていく可能性をそなえている。ここでは、現代スポーツの諸問題とスポーツが社会や地域を変える可能性について学ぶ。
私たちの身体は、運動に対して非常に適応性がある。その適応性は様々な要因によって変化の様相は異なる。トレーニングによって変わるからだの仕組み、体力・記録などについて学ぶ。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
スポーツの基礎講座としてスポーツ経済学・スポーツ解剖学・アスレティックリハビリテーションの理論を学び実践する演習形式の授業を行い、専門的な知識と技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
基礎講座で学んだ知識をグループワーク等で協議し、生徒同士の相互実践を行い、その結果を考察し発表できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
最新の理論と実践を学ぶ態度を育成し、自身の専攻種目にいかに還元するかを考えさせ、主体的に学習する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	スポーツの振興発展に寄与するための理論について理解する。スポーツに関する課題について自ら題意識を持ち、調べ、まとめていく学習をする。	生涯を通してスポーツの振興発展に寄与することを目指して、「スポーツ概論」の課題に応じた運動や学習の取り組み方、健やかな心身の高め方や維持の仕方を工夫している。	スポーツの社会的・文化的意義を尊重し、主体的、合理的、計画的に「スポーツ概論」の学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	社会学	日本におけるスポーツの発展 現代スポーツの問題点 スポーツ経済学	a:スポーツのさまざまな歴史を覚えたり書きだしたりしている。 b:生理学的な人体の仕組みにていて学び、必要な情報を比較したりしてまとめた考を説明できる。 c:スポーツの発展や問題点について、学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 課題	観察 ワークシート 課題	観察 ワークシート 課題
	生理学	スポーツと体の恒常性 スポーツと体液・体温調節 運動器の構造と働き				
2	社会学	スポーツとメディアの関係 アメリカｽﾎﾟｰﾂﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ スポーツと規約 専門種目ニューズレター作成	a:スポーツと経済の関係、神経と筋肉について、課題をみつけ、覚えたり書きだしたりしている。 b:トレーニングの実践において、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c:スポーツと経済について、意見交換や自分の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 課題	観察 ワークシート 課題	観察 ワークシート 課題
	生理学	スポーツと神経支配 スポーツ栄養の化学的基礎 神経・筋肉ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ 神経・筋肉ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ				
3	社会学	フライヤー 作成	a:スポーツと経済の関係、神経と筋肉について、課題をみつけて言ったり書きだしたりしている。 b:トレーニングの実践において、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c:自身の専門種目について、意見交換や自分の考えを発表するなどの活動を通して学習に自主的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 課題	観察 ワークシート 課題	観察 ワークシート 課題
	生理学	スポーツ外傷の基礎と予防				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度